

福井県自転車活用推進会議 利用環境ワーキング結果報告

1 日 時

令和6年8月6日（火）13:00～14:30

2 内 容

①サイクルツーリズムによる観光振興（サイクルトレイン・シェアサイクルの促進）

- ・若狭湾サイクリングルートでのナショナルサイクルルート指定および利活用
- ・サイクルツーリズムを含む体験型・滞在型コンテンツの造成
- ・サイクルトレインの運行

【主な意見】（下線箇所は計画改定（案）に反映）

- ・イベントとしてサイクルトレインの実施は可能（鉄道事業者より）
 - 【1】自転車利用者に優しい環境づくり
 - ②公共交通機関、商業施設等との接続強化 サイクルトレインの運行 へ反映
- ・レンタサイクルを使うようなライトな層を増やしていくとよい。
- ・観光コンテンツの造成は、観光協会のガイドが少ない、危険が伴う、自転車を整備できる自転車店がないなど課題がある。
 - 【2】自転車と暮らすライフスタイルの推進
 - ①日常的な利用に向けた広報啓発 関係機関と連携した自転車利用の促進 へ反映
- ・広域レンタルの乗り捨てができるとよい。
 - 【1】自転車利用者に優しい環境づくり
 - ②公共交通機関、商業施設等との接続強化 シェアサイクル設置の支援 へ反映
- ・観光連盟で調査したアンケートでは、レンタサイクルを利用した9割が満足と答えている。

②自転車を利用した健康づくり（自転車通勤等の促進、健康増進と絡めた自転車利用の広報）

- ・企業が行う自転車通勤促進のための環境整備
- ・自転車を活用した健康づくり広報啓発
- ・サイクルツーリズムを含む体験型・滞在型コンテンツの造成

【主な意見】

- ・県では、県民が健康づくりをしやすい環境整備を進めているが、歩行が中心。自転車での通勤を勧めるのであれば、道路の整備が必要。
- ・過去に自転車事故があり、自転車での通勤は推奨していない。
- ・自転車は好きな人が乗るもので、通勤での利用促進は行っていない。

参加者：以下のとおり

	団体名	氏名	
鉄道会社	西日本旅客鉄道株式会社福井営業支店	支店長	藤澤 大輔
	福井鉄道株式会社	係長	白崎 正臣
	えちぜん鉄道株式会社	取締役	佐々木 大二郎
	株式会社ハピラインふくい	主事	野坂 藤生
観光事業者	福井県観光連盟	副局長	森 真紀
市町	福井市自転車活用推進課	主査	日下 貴文
	敦賀市交通対策課	係長	藤間 恵美
	越前市地域交通課		水野谷 光紀
県	地域鉄道課	参事	小淵 孝暁
	観光誘客課若狭湾サイクリングルート推進室	室長	桑原 景子
	健康政策課	企画主査	野口 裕揮
	交通まちづくり課	参事 主事	中村 智哉 吉川 優花

福井県自転車活用推進会議 整備ワーキング結果報告

1 日 時

令和6年8月6日（火）13:00～14:30

2 内 容

- ・モデルルート = 自転車利用のすそ野を広げるため、モデル的に整備
- ・週末サイクリングを楽しむサイクリング初心者や家族連れ、レンタサイクルでの周遊を行う観光客等、主に一般車やシティサイクル利用者が、手軽に始められるようルートを設定する。
- ・ある程度整備されており、一定の利用実績があるサイクリングルートを組み合わせ、モデル的に整備を行う。

【主な意見】（下線箇所は計画改定（案）に反映）

- ・福井市ではふくチャリ推進で、まちなかの観光ルートを今年度中に設定する予定。
- ・北潟湖ハミングルート^①の矢羽根整備後、利用台数は増えてきている。
- ・あわら市としては、坂井市に抜けるルートの整備も行っていきたい（305号線の整備、ふくいサイクリングマップの①と②をつなぐイメージ）
 - 【3】サイクルツーリズムの推進による観光振興
 - ①受入環境のさらなる整備充実 サイクリングモデルルートの設定 へ反映
- ・整備よりも、まずはルートの情報発信を行い、利用状況を見ながら整備を行ってはどうか。
- ・サイクリングルート全て整備を進めることは難しいため、特に整備を進めたいルートに絞って整備すべき。
 - 【3】サイクルツーリズムの推進による観光振興
 - ①受入環境のさらなる整備充実 マップやHPでの分かりやすい情報発信 へ反映
- ・多くの市町において、サイクリング関係の予算を持っていない。
 - 【2】自転車と暮らすライフスタイルの推進
 - ④自転車に親しむ機会づくり 地域で行う自転車イベントの推進 へ反映

参加者：以下のとおり

	団体名	氏名
国	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所	道路管理課建設監督官 岩室 善和
市町	福井市自転車利用推進課	主査 日下 貴文
	大野市建設整備課	技師 宮本 雅斗
	勝山市未来創造課	主査 織田 隆大
	鯖江市総合交通課	参事 中尾 貴洋
	//	主事 河野 玲奈
	都市計画課	主事 松戸 允志
	商工観光課	主事 萩原 裕大
	あわら市生活環境課	技師 竹澤 和宏
	越前市経営戦略室	水野谷 光紀
	坂井市公共交通対策課	主事 渡辺 恒
	永平寺町総合政策課	主事 酒井 達也
	池田町総務財政課	主事補 山田 駿己
南越前町観光まちづくり課	主事 藤原 悠河	
越前町企画振興課	主査 青山 晴彦	
県	道路保全課	主任 今井 洋平 主査 山内 理瑚
	交通まちづくり課	参事 中村 智哉 主事 吉川 優花

ふくいサイクリングマップに記載されているサイクリングコース



現行計画においてモデルルートに設定済み

③福井・坂井・永平寺観光地アクセスルート

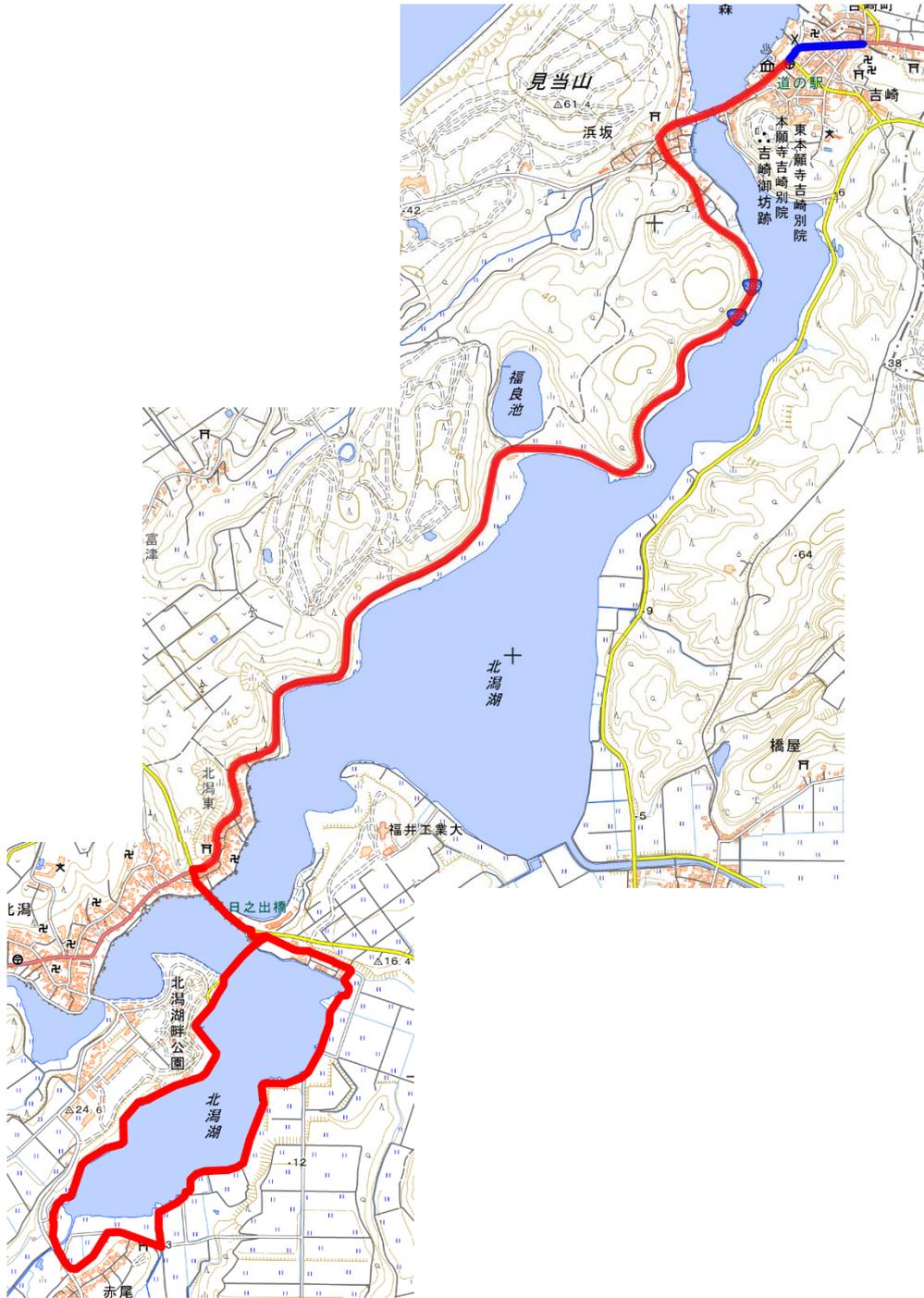
⑫三方五湖周遊ルート

⑮若狭湾サイクリングルート

⇒他 12 ルートを福井県サイクリングモデルルートに位置付けを検討

北陸3県をつなげるルート

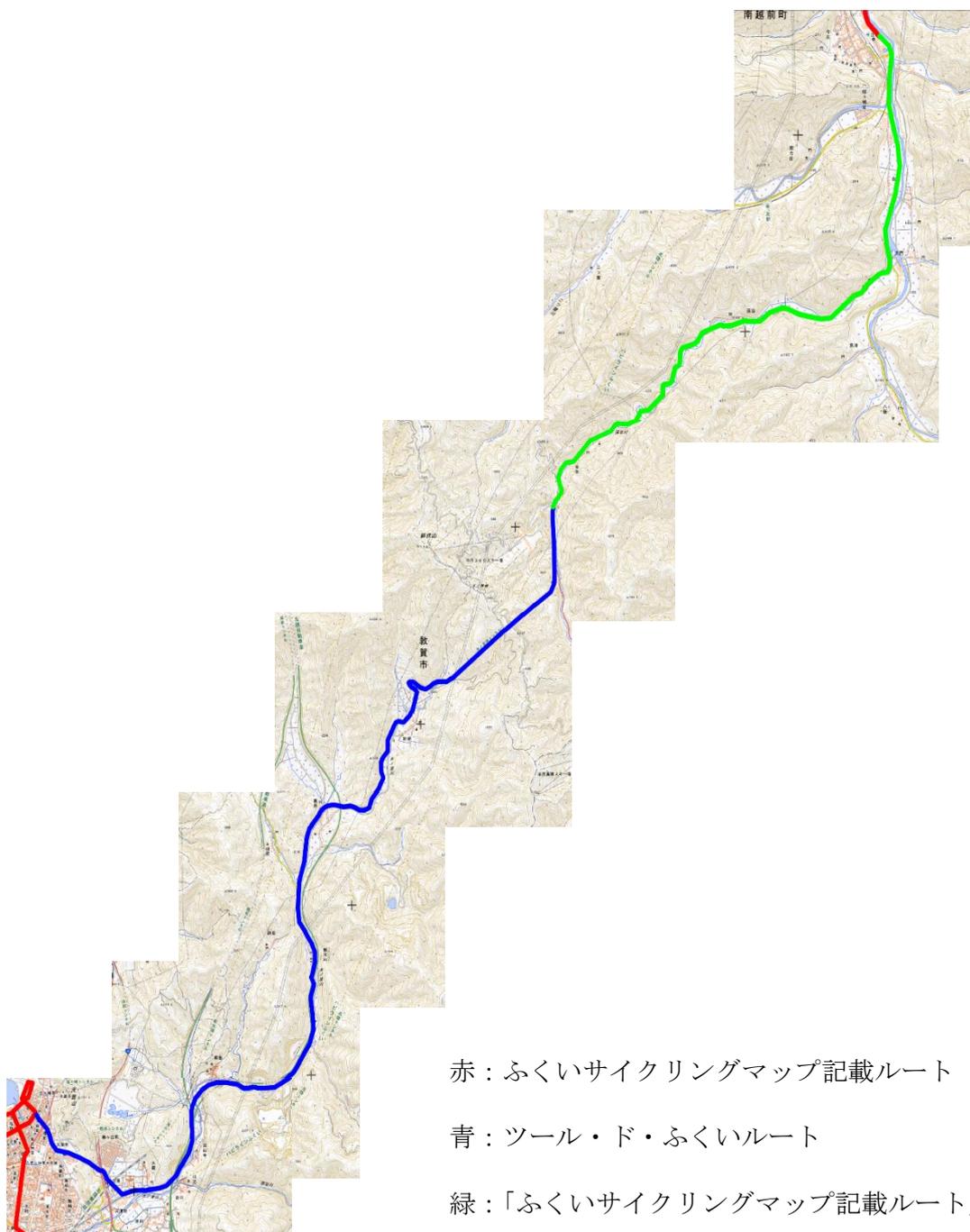
- ・令和4年度北陸三県知事懇談会において、石川県から北陸三県のサイクリングルートをつなげてはどうかと提案あり
- ・石川県に近いサイクリングルートとして、北潟湖ハミングロードがある。北潟湖ハミングロードを吉崎から石川県境に向けて、国道365号線を約200m延長すると石川県とつながる。



(赤：北潟湖ハミングロード、青：延長案)

南北ルート①

- ・現在、福井県サイクリングマップに記載のルートは点在しており、つながっていない状態。特に嶺北地域と嶺南地域を結ぶルートがない。
- ・JR今庄駅までは、丹南ふれあいスポーツレクリエーションロード（ふくいサイクリングマップ記載）のルート、敦賀地域においては、若狭湾サイクリングルートのルートが設定済みであり、その2つのルートを結ぶルートとして、ツール・ド・ふくいのルートを活用（今庄駅から国道476号線を南下し、木ノ芽峠トンネルを通り敦賀まで南下）
（ツール・ド・ふくい：今年10月に、今庄365スキー場を発着点に行われるサイクリングイベント）



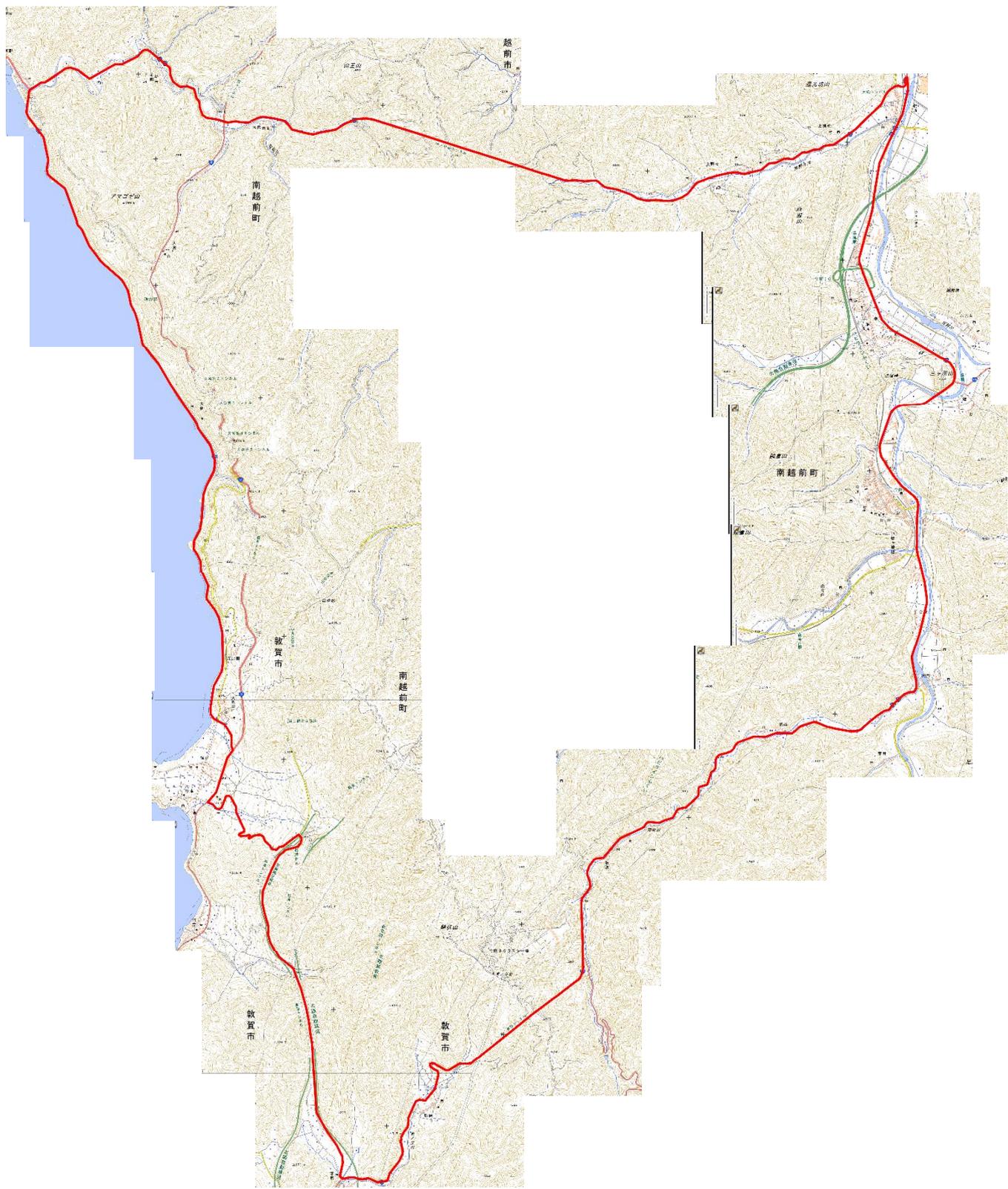
赤：ふくいサイクリングマップ記載ルート

青：ツール・ド・ふくいルート

緑：「ふくいサイクリングマップ記載ルート」と
「ツール・ド・ふくいルート」をつなぐルート

南北ルート②

- ・南越前町サイクリングマップに記載されているルート（「山から海へよくばりルート」）
- ・今庄宿を起点に、国道365号線を南下し木ノ芽峠トンネルを通り、国道478号線を通り越前海岸に抜ける。越前海岸からホノケ山トンネルを通り、305号線に戻ってくるルート（南北ルート①と一部重なる。）



サイクルツーリズムによる観光振興

(1) 現行計画

【3】サイクルツーリズムの推進による観光振興

取組内容	実績 (R2～R5)
①受入環境のさらなる整備充実	
マップや HP での分かりやすい情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくいサイクリングルートマップの配布 ・自転車の情報メディア「TABIRIN」にサイクリングルートに掲載 ・自転車 NAVITIME に「自転車の駅」、「レンタサイクル」の情報掲載 ・わかさいくるアカウントによる SNS 運用 ・多言語（日本語、英語、中国語）に対応したルートマップおよびホームページ作成 ・「九頭竜ぐるっとペダル」公式ホームページでの情報発信 ・北濃湖周遊サイクリングロードの PR ビデオを YouTube にて公開
ルート上の宿泊施設のサービス拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかさいくるサイクリストに優しい宿」認定 ・サイクリストに優しい宿として改修 (R5.4～)
サイクルトレインの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルトレインの運行（福井鉄道、えちぜん鉄道）
観光型 MaaS の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい MaaS においてデジタル企画切符を販売 ・つるがシェアサイクルと敦賀市内バスの共通 1 日フリー券（MaaS カード）を販売
シェアサイクルの設置の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・大野市にてレンタサイクル「九頭竜ぐるっとペダル」の運営 ・福井市、敦賀市でシェアサイクルの実施 ・若狭町が三方駅にて貸出するレンタサイクル 10 台を整備
IoT を活用したシェアサイクルの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくチャリやつるがシェアサイクルのアプリでサイクルポートの検索や貸出予約に対応
「自転車の駅」の充実・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町で自転車の駅を整備（158 施設 R6.3 時点） ・サイクルステーションへの巡回指導やサイクルステーションスタッフ講習会の開催 ・わかさいくるルート発着点の JR 敦賀駅、若狭高浜駅にゲートウェイ機能整備
サイクリングイベントの PR 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・福井バイコロジスト通信、福井バイコロジスト宣言の Facebook ページによる県内のイベント・自転車情報の配信 ・わかさいくるアカウントによる SNS 運用

(2) 現行計画における課題

- ・観光誘客の利便性向上として、鉄道・レンタサイクル等の一体的な乗継サービスの提供が必要
- ・「わかさいくる」のナショナルサイクルルート指定を目指して、サイクルツーリズムの取組の推進や環境整備を進めていく必要
- ・若狭湾サイクリングルートはせっかく整備をしているので活用してもらいたい。
(R 6 自転車活用推進会議の際に若狭湾サイクリングルート推進室から発言)
- ・福井駅から一乗谷までサイクリングするツアーを企画すれば、サイクルトレインと観光のPRにもなるのではないか。
(R 5 自転車活用推進会議委員からの発言)
- ・ハピラインでサイクルトレインなどを計画されると良いのではないか。(R 6 自転車活用推進会議委員からの発言)

(3) 次期計画に向けた施策（案）【関係者未調整】

1 若狭湾サイクリングルート of ナショナルサイクルルート指定および利活用【新規】

- ・若狭湾サイクリングルート推進協議会が中心となって、若狭湾サイクリングルート of 令和7年度のナショナルサイクルルート認定を目指している。

※ナショナルサイクルルート…優れた観光資源を走行環境や休憩・宿泊機能、情報発信など様々な取組を連携させたサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たす国が指定したルート

- ・走行環境（路面表示や案内看板など）や受入環境の充実、機運醸成といった持続的な磨き上げを行う。
- ・若狭湾サイクリングルートを活用したサイクルイベントの開催やサイクルツーリズムの推進。

2 サイクルツーリズムを含む体験型・滞在型コンテンツの造成【新規】

- ・自転車を活用した観光地域づくり（サイクルツーリズムの推進）は各地で進められている。（例：しまなみ海道）
- ・観光客のニーズが「モノ消費」から体験型観光の「コト消費」へ変化し、滞在コンテンツの充実が求められている中、自転車は、爽快感・雰囲気や自然を肌で感じられることから、観光客の来訪を促進できる可能性がある。
- ・嶺南地域を中心に福井県内でもサイクルツーリズムが進められているが、県内全域に波及させる。

3 サイクルトレインの運行【拡充】

- ・えちぜん鉄道や福井鉄道においてサイクルトレインを運行（～令和5年度）
- ・サイクルツーリズムやサイクルイベントにおけるサイクルトレインの活用（長期休暇期間や週末等）

自転車を利用した健康づくり

(1) 現行計画

【2】自転車と暮らすライフスタイルの推進

取組み内容	実績 (R2～R5)
① 日常的な利用に向けた広報啓発	
自転車を活用した健康づくり広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・福井バイコロジスト通信による県内のイベント・自転車情報の配信 ・バイコロジー啓発チラシ等の配布
マイカーから自転車への利用転換の広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な省エネ活動の普及啓発を行う取組み「デコ活ふくい」において、環境イベントやテレビ番組で、公共交通機関や自転車などを利用するスマートムーブの呼びかけを実施
② 自転車通勤の促進	
自転車通勤のメリット等の広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・カーフリーデー等のイベントにおいてパンフレット等配布
公共施設を利用したパークアンドサイクルライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パークアンドサイクルライド駐車場として3施設を貸出し（県立図書館、福井市南体育館、県立音楽堂（ハーモニーホールふくい） ・FBC ラジオでパークアンドサイクルライドを周知
「カー・セーブ運動」によるマイカー通勤から自転車通勤への転換	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤時のカー・セーブ運動の登録呼びかけ ・カー・セーブ参加企業へのメルマガ配信 ・通学時の公共交通等の利用促進を呼びかける学生向けMM（モバイルマネジメント）リーフレットを配布
県の機関において自転車通勤に必要な環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁舎にスポーツバイク用のサイクルラック2基設置 ・県庁舎にて空気入れ、自転車簡易工具を貸出 ・県のLife style shift 実施に合わせて県職員に自転車活用を促進する通知を配信

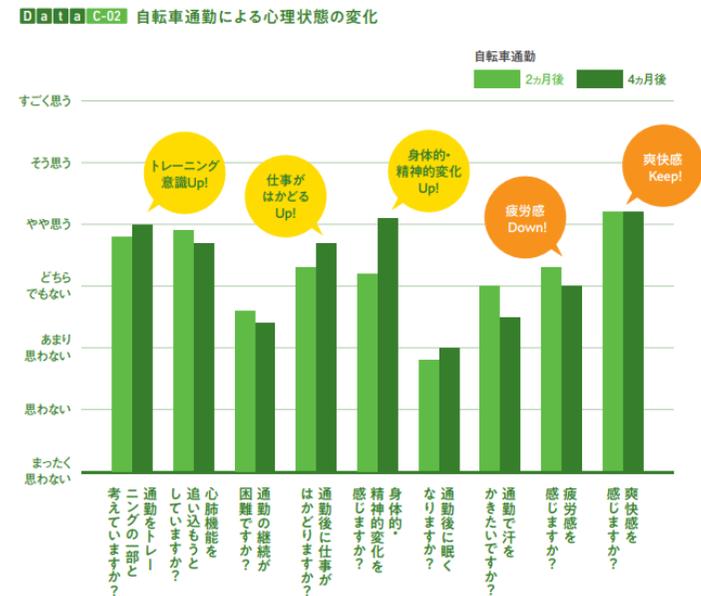
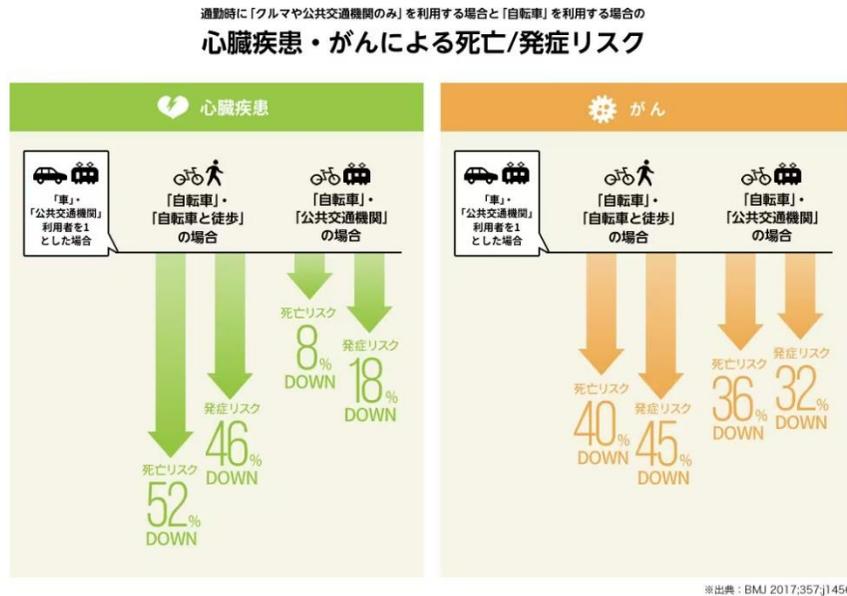
(2) 現行計画における課題

1 日常的な自転車利用者を更に増やす取組みの実施

- ・国勢調査によると、通勤に自転車を利用している割合は約 7.1%であり、低い状況。

2 自転車を活用した健康づくり広報啓発

- ・SHIMANOは自転車が健康に良いと報告をしており、こうした資料を活用し、連携して広く広報してもらえると良い。
(R4 自転車活用推進会議委員からの発言)
- ・自転車に乗ることが健康のバイタリティーになるという高齢者も多いので、自転車や徒歩を含めて効果がどのように表れてくるのかを含めて広報してくれると効果があるかと思う。(R5 自転車活用推進会議委員からの発言)



(出典) SHIMANOホームページ

(3) 次期計画に向けた施策（案）

1 企業が行う自転車通勤促進のための環境整備【新規】

- ・企業に駐輪場整備など従業員が自転車通勤しやすくなるような環境整備を行うよう呼びかけ

2 自転車を活用した健康づくり広報啓発【拡充】

- ・健康教室や保健指導等の場を通じた自転車の日常利用の普及啓発（運動習慣の定着、生活活動量の増加）の促進
- ・自転車による運動がメンタルヘルスに良いと言われていることを活用した広報活動の実施

3 サイクルツーリズムを含む体験型・滞在型コンテンツの造成【新規】

- ・サイクルツーリズムを推進する県内市町・企業・団体等に対して、ヘルスツーリズムにつながるような、自転車を活用した健康コンテンツと観光を連携した事業の導入検討や実施の働きかけ

他県事例

北海道 TOYOTOMI サロベツサイクル&最北の温泉郷ヘルスツーリズム（北海道）

岩美町ジオ・ヘルスツーリズム（鳥取県）